

2022 年度 国際園芸博覧会の広報 PR・機運醸成等業務委託 プロポーザル実施要領

(趣旨)

第1条 2022 年度 国際園芸博覧会の広報 PR・機運醸成等業務委託の受託候補者をプロポーザル方式により特定する場合の手続き等については、一般社団法人2027年国際園芸博覧会協会プロポーザル実施事務要領（以下「実施事務要領」という。）に定めがあるもののほか、この実施要領に定めるものとする。

(実施の公表)

第2条 実施の公表にあたっては、実施要領、提案書作成要領、提案書評価基準及び業務説明資料等により、次の各号に掲げる事項について明示するものとする。

- (1) 当該事業の概要等
- (2) プロポーザルの手続き
- (3) プロポーザルの作成書式及び記載上の留意事項
- (4) 評価委員会及び評価に関する事項
- (5) その他必要と認める事項

(提案書の内容)

第3条 提案書は、次の各号に掲げる事項について作成するものとし、様式などは、別に定める。

- (1) 当該業務の実施体制
- (2) 予定技術者の経歴等
- (3) 業務の実施方針及び業務工程
- (4) 提案内容
- (5) その他当該業務に必要な事項

(評価)

第4条 プロポーザルを特定するための評価事項は、次に掲げる事項とする。

- (1) 本業務に活かすことのできる過去の同種または類似業務の実績があるか等
- (2) 委託の趣旨・目的の十分な理解に基づいた業務実施方針の妥当性・実現性等
- (3) 具体的・効果的な提案であるか等
- (4) ワーク・ライフ・バランスに関する取組等

2 プロポーザルの評価にあたっては、提案者にヒアリングを行うものとする。ただし、実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症等の影響を考慮するものとする。

3 提案書の内容及びヒアリング結果を基に、当該業務に最も適した者を特定する。

4 特定、非特定に関わらず、各々の提案者の評価結果については、その提案者に通知する。

(プロポーザル評価委員会)

第5条 評価委員会は、次の各号に定める事項について、その業務を行う。

- (1) 評価項目（着目点含む）及びそのウエイト並びに評価基準の確認
- (2) 提案書の評価
- (3) ヒアリング
- (4) 評価の集計及び報告

2 委員の中に委員長を置き、次のとおりとする。

委員長 一般社団法人2027年国際園芸博覧会協会総務部総務人事課長

委員 一般社団法人2027年国際園芸博覧会協会総務部財務課長

横浜市都市整備局国際園芸博覧会推進課長

横浜市市民局広報課長

横浜市文化観光局企画課横浜プロモーション担当課長

3 委員長に事故等があり、欠けたときには他の委員がその職務を代理する。

4 評価委員会は、委員の5分の4以上の出席がなければ開くことができない。

5 委員が欠席した場合、その委員の評価点は無効とし委員会に出席した委員のみで評価を行う。

6 委員長は、評価結果を「一般社団法人2027年国際園芸博覧会協会 入札等参加資格審査・業者選定委員会」(以下「選定委員会」という。)に報告するものとする。

(評価結果の審査)

第6条 選定委員会は、評価委員会から評価結果の報告があったときは、選定委員会において、次の事項について審査する。

- (1) 評価委員の採点が適正に行われたこと
- (2) 評価委員会の審議及び採点の集計等が適正に行われたこと
- (3) 評価結果に関し、必要事項以外に公表する事項の選定
- (4) 特定、非特定結果通知書に記載する理由
- (5) その他必要な事項

附 則

この要領は、2022年1月28日から施行する。